

MOTOTRBO™ R7Ex 非接触型 ソリューション

重要な情報を追跡

非接触型テクノロジーは、電波を使用して個々の資産を識別し、資産追跡、在庫管理、人員識別などの機能を提供します。これらのコスト効率の高い本人確認追跡ツールは、紛失防止、オペレーションの合理化、生産性の向上、安全プロトコルの強化に役立ちます。

MOTOTRBO™ R7Ex 非接触型ソリューションは、煩雑な取り付けを増やしたり、無線機のサイズを大きくしたりすることなく、パッシブ RFID または NFC タグが使えます。タグの種類と配置は、無線機の性能に干渉や影響を与えないように、特別に選定およびテストされています。各タグには固有の識別番号が組み込まれており、無線機の追跡と管理が可能です。タグは無線機ベゼルに埋め込まれており、識別ロゴが付いているため、R7Ex 無線機に RFID タグまたは NFC タグが取り付けられているかどうかを簡単に確認できます。





安全基準の向上

R7Ex は、作業員が動的な環境下でも集中力と接続性を維持できるよう、信頼性の高い統合ツールを提供します。RFID および NFC タグは、この取り組みを強化し、位置情報とアクセス制御のためのユーザーフレンドリーなソリューションを提供します。施設内のチェックポイントに R7Ex をかざすだけで、位置を確認したり、中央ユニットにステータスを送信したり、R7Ex をスキャンして制限区域にアクセスしたりできます。

識別子は、RFID または NFC タグが取り付けられていることを示します

追跡と紛失防止の効率を向上

多数のデバイスを管理するのは時間がかかり、人為的ミスも多発します。手作業による記録、バーコードの劣化、そして多忙な作業日などは、遅延やミスの原因となり、結果としてデバイス追跡が行われなかったり、無駄な投資につながったりする可能性があります。RFID タグは、現場での無線機の追跡と返却時の追跡に役立ち、複数のデバイスを一度にすばやくスキャンできます。

シフト交代の遅延は、ワークフローと士気に影響を与え、生産性を低下させ、マネジメント部門に不要なプレッシャーをかけます。非接触型テクノロジーは、従業員が在庫プールから R7Ex デバイスをすばやくチェックアウトし、シフト終了時に再スキャンしてチェックインできるため、このような運用上のダウンタイムを削減します。

	RFID	NFC
一般的な仕様		
部品番号/説明	PMLN8707 R7Ex RFID タグキット (EU) PMLN8700 R7Ex RFID タグキット (米国)	PMLN8699 R7Ex NFC タグキット
環境仕様		
動作温度	-20℃～+60℃	-30℃～+60℃
保管温度	-20℃～+85℃	-30℃～+85℃
熱衝撃	MIL-STD に準拠	
湿度	MIL-STD に準拠	
落下高	1200 mm	
IP 等級	IP66、IP68 (2m で 2 時間)	
RF 仕様		
周波数範囲	866 ～ 868 MHz (EU) 902 ～ 928 MHz (米国)	13.56 MHz
読み取り範囲 ¹	0.3 m ～ 47 m	20 mm、リーダーの中心に平行
プロトコル	EPC Class 1 Gen 2v2	NFC フォーラム - タイプ 5、標準 - ISO15693
規制		
RED EMC/RF	EN 302 208 V3.3.1、EN 301 489 -3 V2.2.3	EN 300 330 V2.1.1、EN 301 489 -3 V2.2.3

¹ リーダーによって異なります

詳細については、motorolasolutions.com/R7Ex をご覧ください

これらのモデルは、Motorola Solutions ANZ、APAC、EMEA、および LACR 地域でのみご利用いただけます。記載されている製品や機能が利用可能か否かは、各国の法律および規制によって異なります。

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners. ©2025 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved. (06-25)